



山形県感染症発生動向調査

平成28年第51週(12月19日～12月25日)

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所)
 TEL.023-627-1109, FAX023-641-7486
 URL <http://www.eiken.yamagata.yamagata.jp/>
 2016年12月27日 発行

<定点把握感染症>

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

※ :警報レベル

 :注意報レベル

疾患名	全国	山形県			村山地区			最上地区			置賜地区			庄内地区			累積(県)
	第50週	第50週	第51週	増減	第50週	第51週	増減	第50週	第51週	増減	第50週	第51週	増減	第50週	第51週	増減	
インフルエンザ定点 (定点医療機関数)		(48)			(20)			(5)			(10)			(13)			
インフルエンザ	24857 5.02	174 3.63	281 5.85	▲	71 3.55	141 7.05	▲	4 0.80	11 2.20	▲	81 8.10	97 9.70	▲	18 1.38	32 2.46	▲	14618
小児科定点 (定点医療機関数)		(30)			(13)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	2507 0.79	31 1.03	21 0.70	▼	12 0.92	8 0.62	▼				11 1.83	12 2.00	▲	8 1.00	1 0.13	▼	1597
咽頭結膜熱	1616 0.51	13 0.43	18 0.60	▲	10 0.77	13 1.00	▲				3 0.50	5 0.83	△				737
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8595 2.72	196 6.53	231 7.70	△	119 9.15	128 9.85	▲	3 1.00	2 0.67	▽	41 6.83	49 8.17	△	33 4.13	52 6.50	△	7505
感染性胃腸炎	66015 20.89	1418 47.27	996 33.20	▼	544 41.85	387 29.77	▼	36 12.00	37 12.33	△	437 72.83	281 46.83	▼	401 50.13	291 36.38	▼	13463
水痘	2047 0.65	31 1.03	27 0.90	▽	15 1.15	12 0.92	▽	2 0.67	1 0.33	▽	9 1.50	3 0.50	▽	5 0.63	11 1.38	▲	619
手足口病	1371 0.43	7 0.23	1 0.03	▽	7 0.54	1 0.08	▽										399
伝染性紅斑	420 0.13	2 0.07	2 0.07			1 0.08	△				1 0.17	1 0.17		1 0.13		▽	1466
突発性発しん	1250 0.4	12 0.40	17 0.57	▲	4 0.31	5 0.38	▲				3 0.50	9 1.50	△	5 0.63	3 0.38	▽	962
百日咳	35 0.01																20
ヘルパンギーナ	271 0.09	4 0.13	2 0.07	▽	1 0.08	2 0.15	▲	2 0.67		▽	1 0.17		▼				2940
流行性耳下腺炎	3056 0.97	49 1.63	47 1.57	▼	15 1.15	17 1.31	▲	8 2.67	6 2.00	▽	22 3.67	24 4.00	△	4 0.50		▽	2990
眼科定点 (定点医療機関数)		(8)			(4)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	10 0.01																1
流行性角結膜炎	495 0.71	1 0.13	3 0.38	▲										1 0.50	3 1.50	▲	69
基幹定点 (定点医療機関数)		(10)			(4)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	26 0.06																20
クラミジア肺炎	9 0.02																4
マイコプラズマ肺炎	477 1.01	7 0.70	13 1.30	▲	4 1.00	6 1.50	△	1 1.00	1 1.00					2 0.67	6 2.00	▲	184
細菌性髄膜炎	2 0																7
無菌性髄膜炎	24 0.05																13

<全数把握感染症>

疾患名	類型	報告数				備考
		村山	最上	置賜	庄内	
結核	患者	1				
梅毒	患者	1				

<通信欄>

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。

< 定点把握感染症 報告患者数 年齢別 >

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
インフルエンザ	2		9	10	15	14	9	13	19	16	18	69	17	11	
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									合計
	22	12	11	4	4	6									281
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症	3	3	2	4	2	1	2	1				1		2	21
咽頭結膜熱		4	7	2	1	4									18
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1	4	8	26	35	30	28	18	20	30	27	1	3	231
感染性胃腸炎	2	17	71	90	86	109	132	120	94	66	60	108	20	21	996
水痘		1	1	3	5	5	5	5	1			1			27
手足口病			1												1
伝染性紅斑						1						1			2
突発性発しん	1	2	14												17
百日咳															
ヘルパンギーナ		1			1										2
流行性耳下腺炎			2	2	4	7	15	7	3	3		2		2	47

< 平成28年11月 月報 >

2016年12月20日 更新

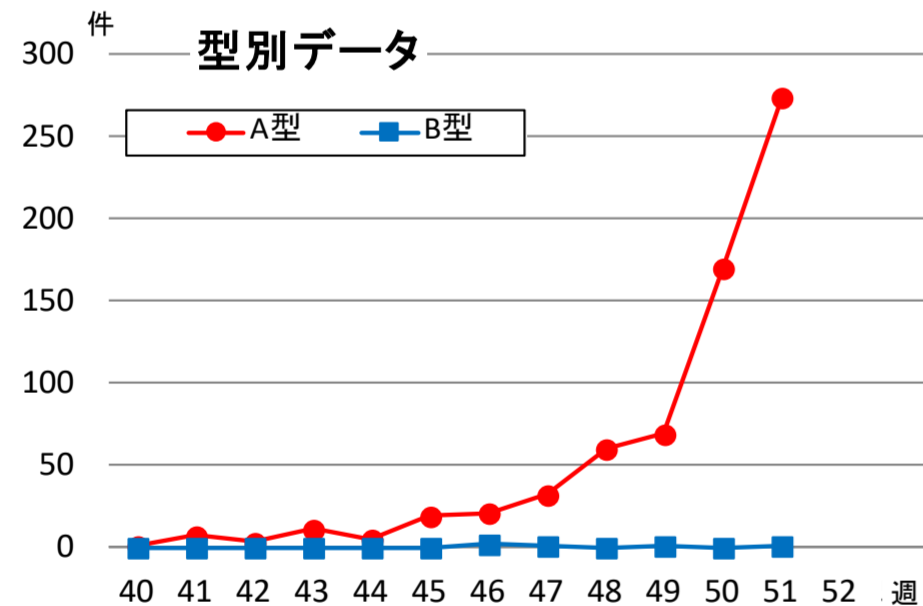
疾患名	山形県		村山地区		最上地区		置賜地区		庄内地区		累積(県) 1～11月
	10月	11月	10月	11月	10月	11月	10月	11月	10月	11月	
STD定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)		
性器クラミジア感染症	報告数 24 定点当り 2.40	23 2.30	11 2.75	10 2.50	10 10.00	8 8.00	2 1.00	2 1.00	1 0.33	3 1.00	214
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数 9 定点当り 0.90	6 0.60	3 0.75	2 0.50	1 1.00	1 1.00	4 2.00	3 1.50	1 0.33		68
尖圭コンジローマ	報告数 3 定点当り 0.30	1 0.10	1 0.25				1 0.50		1 0.33	1 0.33	30
淋菌感染症	報告数 4 定点当り 0.40	3 0.30	1 0.25				1 0.50	1 0.50	2 0.67	2 0.67	25
基幹定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)		
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数 4 定点当り 0.40	9 0.90		3 0.75	2 2.00	2 2.00			2 0.67	4 1.33	64
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数 22 定点当り 2.20	18 1.80	11 2.75	7 1.75	1 1.00	3 3.00	1 0.50	1 0.50	9 3.00	7 2.33	191
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数 定点当り										

< トピックス >

【インフルエンザ情報】

1 定点医療機関情報(第51週)

迅速診断キットによるインフルエンザウイルスの陽性件数



	A型	B型
村山	138	0
最上	11	0
置賜	96	1
庄内	29	0
合計	274	1

※型別不明: 6件

2 インフルエンザウイルス分離状況(衛生研究所 12月20日現在)

今シーズン、県内では、AH1pdm2009型 7株、A香港型

6株が分離されています。

3 集団発生状況(県健康福祉企画課まとめ 第51週)

種別	村山地区	最上地区	置賜地区	庄内地区
幼稚園・保育所	2			1
小学校	1		3	
中学校	1		1	
高校		2		
福祉施設 (老人福祉施設等)			3	

インフルエンザは、毎年、冬に流行し、私たちの健康に大きな影響を及ぼす代表的な呼吸器感染症です。感染力が強く、いったん流行が始まると短期間に多くの人へ感染が拡大します。

手洗いでインフルエンザを予防し、かかったら、マスク等咳エチケットを心がけましょう。



こまめな手洗いとマスク着用を心がけ、体調管理に努めましょう。
「かかったかな」と思ったら、早めに医療機関を受診しましょう。

【感染性胃腸炎情報】

感染性胃腸炎の県全体の報告数は、前週の約7割に減少しました。

定点当たり報告数は、県平均では、33.2人、地区別では村山地区は29.8人、最上地区は12.3人、置賜地区は46.8人、庄内地区は36.4人となり、警報レベルが続いています。

【警報開始基準値: 20人 警報終息基準値: 12人】

感染性胃腸炎とは

感染性胃腸炎は、冬季に患者数が増加し、その大半はウイルス感染によるものと推測される感染症です。また、年末の集団発生例の多くは、ノロウイルスによるものと考えられています。

【症状】病原体によって異なりますが、主な症状は嘔吐、下痢、発熱です。

治療は、ウイルス性のものでは対処療法が中心となります。

【予防法】最も重要で、効果的な予防法は「流水・石けんによる手洗い」です。

トイレ後、外出後、調理前、配膳前、食事前など、こまめに手洗いをしましょう。

特にノロウイルスは感染力が強く、注意が必要です。

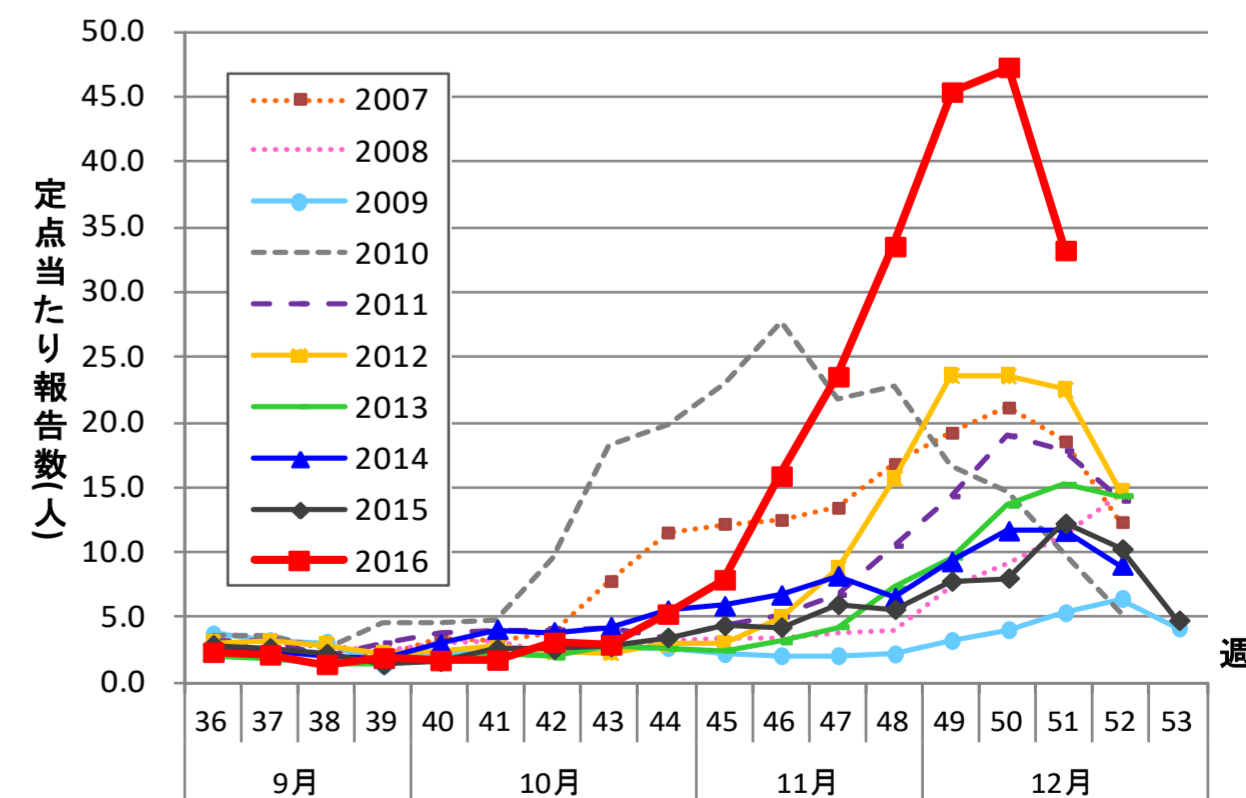
二枚貝を調理する際は中心

部まで十分に加熱し、使用した器具は熱湯消毒しましょう。

嘔吐物や下痢便にはノロウイルスが大量に含まれています。処理する際は、マスク・手袋を着用してください。

消毒は塩素系消毒剤で行う必要があります。消毒に家庭用漂白剤を使用する場合は、200倍程度に薄めて使用して下さい。

感染性胃腸炎発生状況(山形県)



※参考URL: IDWR 2012年第43号<注目すべき感染症>感染性胃腸炎
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/intestinal-m/intestinal-idwrc/2923-idwrc-1243.html>